



研修の様子を紹介します

主体的・対話的で深い学びの実現を図る単元デザイン講座

本講座は、ICTを含めた多様な学習活動を取り入れて「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進していくことを目的に、2日間実施しました。

受講者は、当センターが考案した「単元デザインシート」を用いて、「主体的・対話的で深い学び」の視点から単元の構成を練り、授業実践を行いました。

また、放送大学の中川一史教授の「個別最適な学びと協働的な学びにおけるICT活用」についての講義も踏まえて「主体的・対話的で深い学び」の視点から協議を行い、単元全体で授業改善を考えていく重要性を確認しました。

グループ協議の様子



受講者の声

自分で単元デザインシートを作成してみて、「主体的・対話的で深い学び」の観点から授業に足りない部分や工夫が必要な部分がよく分かった。

講演や協議をとおして、授業改善していくうえで参考になる視点を得ることができたので、今後の生徒の学びに役立てていきたい。

新任特別支援学級担任教員研修

本研修は、初めて特別支援学級を担当される教員を対象に3日間実施しました。受講者は、本県の「特別支援学級ガイドライン」を踏まえ、障害特性に応じた指導方法や個別の指導計画の活用等について理解を深めました。研修3日目は、グループで「自立活動」の実践を発表・協議し、児童生徒の実態に応じた適切な指導や支援に向けて意見交換しました。なお、受講者の実践レポートは、TeaRoomのコミュニティ「【公開資料】新任特別支援学級担任教員研修」に公開されていますので、指導の参考にしてください。

実践発表・協議の様子



受講者の声

研修1日目のオンデマンド講義動画での研修は繰り返し視聴することができて大変良かった。実践に取り入れたいことが見つかった。

初めて特別支援学級を担当して不安でしたが、同じ立場の先生方と実践を共有したり、悩みを話し合ったりして、とても励みになった。

先端科学技術講座

大学と連携し、先端科学技術に関する5つの研修講座を実施しました。そのうちの3つを紹介します。

「素粒子の世界から宇宙の謎を探る」

新潟大学 浅賀岳彦 教授 会場：新潟大学理学部

「広い宇宙のヒントは素粒子にあり」というテーマで、難易度の高い内容をとてもわかりやすく、実習を交えてご講義いただきました(7/22)。

受講者の声

- ・宇宙と素粒子、普段あまり考えないことについて考えるきっかけになりました。
- ・とても難しい内容でしたが、大変わかりやすくお話ししていただき、自身の学習意欲を高めることができました。
- ・高校物理や地学の授業において、十分活用できる内容でした。

「新型コロナウイルスとPCR検査」

新潟薬科大学 関 峰秋 准教授 会場：新潟薬科大学

PCR検査の原理について、DNA複製などに関連付けながらご講義いただきました(8/26)。

受講者の声

- ・化学を教えている者として、難しく初見の内容もあったが、とても楽しい講義でした。
- ・qPCRの技術や新型コロナウイルスなど、たくさんの知識を得ることができました。



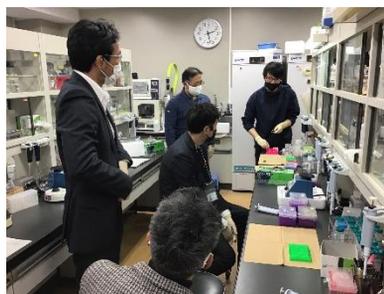
「世界の水環境の現状と水環境保全技術」

長岡技術科学大学 渡利高大 助教 会場：長岡技術科学大学

地球を取り巻く水環境について、様々な視点からご講義いただきました(11/30)。

受講者の声

- ・高校では実施できない蛍光標識を使った実験がとても貴重でした。
- ・とても有意義な講座なので、もっと多くの先生に受講して欲しいですね。



お知らせ

「研修の活用状況等に関する調査」について

今年度、当センターが主体となり実施した研修・講座の受講者を対象に、「研修の活用状況等に関する調査」を実施しております。

既に研修・講座の受講を終えた方は、右のQRコードまたは当センターHPからGoogle フォームにアクセスし、御回答ください。

